

## 女性の地位向上（5/5）：根本的相

:

明:

カナダのマギル大学で行われた、イスラ ムがいかに女性の地位を向上させたかについての の抄。  
第五部: イスラ ムがいかに女性の名誉を救ったかについて。

目: [事代における女性](#)

より: アリ アッ=タミ ミ

8 Feb 2011

集日 28 Feb 2011



それでは最 に一つコメントをして、 を受け付けることにします。これらの二つの 解の 用性について考えてみましょう。今日は多くの概念、思想、信条や 史的事 が 介されましたが、それらが に 用された 合、これら二つの 解のどちらが成功するのでしょうか？ それらのどちらが人 に幸福をもたらすでしょうか？ 西洋による世俗的 解か、またはイスラ ム的 解のどちらでしょうか？ こういう具体的な例えがあります。昨年夏、私が北京で 行われた国 の第四回女性会 に参加した 、 々な国家や 体によって、行 を起こすための公 会が行われていました。その行 の目的とは、世界中の女性の地位を高 、向上させるためのものであり、もちろんそれは意 のある正しい目的で、それに反 する の余地はありません。その行 は、 困、健康、 、 争、暴力などの 々な分野に分かれており、その中には女 の分野がありました。行 の12分野の12番目は女 に するものであり、 代世界の女 、



悟をお受け入れになるのでしょうか？” 23年 の年月（ 言者が宣教した期 ） という一世代において、女 しの は 焉し、アラビア半 から消え去りました。また、 にそれだけでなく、あらゆる面における女性への 度も 化したのです。

来世において、人々には天国の 以外ありません。 り返しますが、これこそがムスリムにとっての最高の目 であり、彼らにとっての意欲であり、そして存在意 でもあるのです。したがってイスラ ムは、人々が自らの子供を すという の要素を 拭しただけでなく、同 に社会において少女を教育し、 育するという正の要素ももたらしたのです。ここで今日の最 の点を げることにします。人 はもちろん、それが正しいかどうかには ならず、 去の人 宣言によってその内容を目にすることは出来ませんが、ボスニアにおける大量 戮の例からも分かるように、 局は宣言された目的を果たすことが出来なかったのです。

最 に、イスラ ム文明は他の文明と い 示を基に成り立っていますが、それは女性による支持をもって基 が されているのです。 言者ムハンマド（彼に神の慈悲と祝福あれ）を信じた最初の人物は、彼の妻ハディ ジャであり、彼女の富と支持、そして激励によって 言者はその使命の初期にイスラ ムの教えを めることが出来たのです。多神教徒たちは信教の自由という概念を持ち合わせていませんでした。そういったことはアラビア 半 の多神教徒たちによっては 践されていなかったことであり、彼らはこれを反逆、または の破 であるとなし、拷 や 人など、あらゆる手段をもって阻止しようと みました。同 に、 言者ムハンマド（彼に神の慈悲と祝福あれ）がアラビア半 の人々に宣教し始めた 、彼らはイスラ ムの 示をなんとしても止めようとしたのです。しかし、ムハンマドによる教えが まった 果、 在の世界には10 人以上ものムスリムが存在します。彼らは世界中のあらゆる大 に居住し、国 会 の かれた北京においても 出すことが出来る程です。そこには1000年以上の 史を持つモスクもあります。このことはイスラ ムの まりとその精神が、アラビア半 または中 だけに留まるものではなく、世界中のあらゆる人々、あらゆる人 に受け入れられたものであることを示しているのです。

この教えは一体どこから来たのでしょうか？ もちろん、 言者ムハンマド（彼に神の慈悲と祝福あれ）がイスラ ムの宣教 始から23年 に逝去した 、イスラ ムの まりはアラビア半

内のみに残っていました。イスラームがもたらしたのは、言者に近かった4、5人の功によるものが大きいのです。その一人は、言者の妻アイシャでした。彼女は言者の承を最もめつた者の一人であり、また宗教的意見を述べ、宗教的な裁定を下し、クルアンの章句や言者の言の注などを多く行った35人のうちの一人でした。

人の史におけるどの文明を渡しても、女性がその成立のために努力し、重要な役割を果たしたものを出すことは非常に稀です。プラトン、アリストテレスなどの著名なギリシャ人哲学者らは、皆男性でした。初期教会の父祖らによる物は男性によってかれ、在でも女性が学を修めることは、一部の教会では珍しいことなのです。フランス革命におけるフランス人作家たち、ボルテール、またロシア人たちも皆男性でした。アメリカ合国をき上げた「建国の父」たちも、皆男性でした。イスラームこそは、人に知られている文明のなかで、その播と成立において女性が献し活をせた唯一の文明なのです。言者の教えをめつたこれらの人々はそのも支持をけ、このことは他の解をさない、史的事なのです。そしてこれはイスラームがいかに女性を高させたかにするほんの一部の解、痕にぎないのです。

この事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/940>

著作 2006-2015 断を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断を禁じます。